



おごせ

あなたと議会をむすぶ

議会だより



新年1月4日 第29回新春武蔵越生七福神めぐり 龍穩寺《毘沙門天 財宝の神》

主 な 内 容

議案の審議	2 P
賛否表	4 P
一般質問 8名が登壇	5 P

第144号

平成25年2月1日

発行・越生町議会

編集・広報編集委員会

5 049-292-3121 内線 204

〒350-0494

埼玉県入間郡越生町大字越生900番地2

議会だよりは古紙再生紙を使用しています。

12月 定例会

平成24年度第4回定例会は、12月5日から7日までの3日間の会期で開催されました。町長から提出された案件は、承認1件、条例の改正2件、条例の制定1件、規約の変更1件、補正予算3件の合計8件で、慎重に審議を行い可決及び承認されました。議員から提出された案件は、発議3件及び町長から人権擁護委員の推薦についての意見を求められました。一般質問では、8名の議員が登壇し、町政に関する問題を質問しました。

議会会議規則等の整備

会議規則 委員会条例等の改正

地方自治法の改正により、委員会条例及び会議規則、証人等の実費弁償に関する条例を改正しました。

委員会に関する規定が簡素化され、一つの条文に統合され、委員の選任方法等について法律で定められていた事項が条例に委任されたことに伴い、委員会条例の改正を行いました。

また、現行制度では公聴会の開催、参考人の招致については委員会のみ可能でしたが、本会議においても委員会同様公聴会の開催や参考人の招致ができるよう会議規則の改正をしました。



これにより、住民参画の機会が拡大できることになりました。なお、この会議規則の改正に伴い、証人等の実費弁償に関する条例を改正しました。

総選挙758万円 専決処分承認

衆議院の解散に伴い、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る費用が緊急に必要となったことから、平成24年度越生町一般会計補正予算を専決処分したので、その承認を求められた。

賛成全員 承認

越生町税条例の改正

越生町税条例のうち、越生町行政手続条例に関する適用除外から、申請に対する処分（理由の提示）と不利益処分（不利益処分の理由の提示）を除くもの及び条文中の字句の重複を削除する。

賛成全員 可決

国保医療費 増加増額補正

国民健康保険特別会計補正予算（第1号）は既定の予算に8535万円を追加し、総額を16億6405万円とする。
・医療給付費9.3%増
・人間ドック受診者増加

賛成多数 可決

こども医療費 支給認定項目追加

越生町こどもの医療費支給に関する条例で支給対象外に、既に別の法令で支給認定資格を持つ児童福祉施設等の入居者を追加し、支給資格者を同居の生活を支える保護者を優先して認定登録する条項を追加する。

賛成全員 可決

町民生活の安全と 平穏を確保

暴力団排除活動推進のため必要な事項を定めることにより、町民生活の安全と平穏を確保し、社会経済活動の健全な発展に寄与するため暴力団排除条例を制定する。

賛成全員 可決

梅林駐車場の 土地取得

平成24年度越生町一般会計補正予算（第4号）は既定の予算に歳入歳出それぞれ、3826万円を追加し、歳入歳出それぞれ39億8800万円とする。

・梅林駐車場用地の取得（大型バス9台分 1692㎡）

賛成多数 可決

水道会計・事業とりやめ大幅な減額

越生町水道事業会計補正予算は、既定の収益的支出予算に、1302万円を減額して総額3億968万円とし、資本的支出予算に、3493万円を減額して、1億1555万円とする。

減額の主なもの
 収益的支出予算・浄水場耐震診断業務委託料、第一沈殿池耐震診断業務委託料
 資本的支出予算
 石綿管更新工事費
 賛成多数 可決



反対討論

問題を明らかにし 経営再建を

木村 正美

今年度の水道会計事業は、当初より大幅な赤字を見込んで、費用についてもそれなりに十分に絞り込んで、その必要性と重要性を勘案して作成されたものと思います。それが、今回のように浄水場及び第一沈殿池の耐震診断業務委託料や計画的に進めてきた石綿管更新工事など重要な予算措置を先送りする大幅削減には、非常に理解に苦しみます。うがった見方をすれば、赤字幅拡大を隠す帳尻合わせに見えませんが、質問の中で指摘のとおり、小手先の数字操作に留まることなく、本質的な問題を明らかにさせたい。えで、しっかりとした経営再建策を考えていくべきであると考え反対します。将来をも見据えた道筋をここでしっかりと立てていただきたい。

賛成討論

これからに 期待を込めて

長島 祥二郎

水道事業会計補正予算（第1号）について賛成の立場から賛成討論を申し上げます。気持ちとしては、期待感を込めての賛成討論であります。今回の減額補正は提案説明、或いは担当課長の説明があったように、耐震診断業務をやめる。また人件費が若干異動等によって減ったと言うことで、事業的内容の後退の減額補正ではないかと思われま。そう言った意味で、今後、水道事業会計を含め事業そのものが、本当に困難な場面に立ち入っております。あれもやりたいと、やりたいことはいっぱいありますけれど、そう言った中で、見直しを本当に慎重にやっていただき、何をやるべきかを優先順位をきちんと付けて、今後、水道事業を推進していただきたいと言う期待を込めて賛成討論とさせていただきます。

反対討論

焦げつき寸前 抜本的な改革を

水澤 努

今回の補正予算で本年度中に資金が9300万円消失することが判明。しかも当初予算にあった改良工事分3500万円は未執行。本来なら1億3000万円が消失するところだ。本年度末の残金は2億8000万円の予定。しかも未払い金は4900万円。もはや焦げつき寸前だ。新議員で水道事業に関して多くの素人である私でさえ問題の所在に気づき、議員になりたて当初よりずっと抜本的な改革を訴えてきた。このような事態は事前に予測できなかった。しかしながら事ここに至っても具体的な展望が示されぬまま来年度予算が組まれようとしている。こうした姿勢を改め重大な決意と覚悟で経営再建に臨むことを期し、反対の意思を表明する。

12月定例会で審議した議案の各議員賛否表

は賛成 是反対 議は議長

議案番号	件名	議員氏名										審議結果	
		水澤 努	木村 正美	宮島 サイ子	宮崎 さよ子	吉澤 哲夫	木村 好美	田島 孝文	長島 祥二郎	神邊 光治	浅野 訓正		新井 康之
町長提出	承認 1	専決処分の承認を求めることについて (平成24年度越生町一般会計補正予算(第3号))										議	承認
	3 5	越生町税条例の一部を改正する条例										議	可決
	3 6	越生町子どもの医療費支給に関する条例の一部を改正する条例										議	可決
	3 7	越生町暴力団排除条例										議	可決
	3 8	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について										議	可決
	3 9	平成24年度越生町一般会計補正予算(第4号)										議	可決
	4 0	平成24年度越生町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)										議	可決
	4 1	平成24年度越生町水道会計補正予算(第1号)										議	可決
議員提出	発議 1	越生町議会委員会条例の一部を改正する条例										議	可決
	発議 2	越生町議会会議規則の一部を改正する規則										議	可決
	発議 3	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例										議	可決

人権擁護委員推薦

町長より次の者を引き続き人権擁護委員に推薦することについて意見を求められ、適任であるとした。

氏名 浅見 登

生年月日 昭和23年3月29日

住所 越生町小杉

議会を傍聴してみませんか

12月定例会の傍聴者数

本会議日	傍聴人数
12月5日(木)	2人
6日(金)	27人
7日(火)	5人
合計	34人

町議会には、年4回(3月、6月、9月、12月)開かれる「定例会」と、必要があるときに開かれる「臨時会」があります。そして、どちらも、一般公開され傍聴することができます。

あなたが選んだ議会議員が、議会でのような活動をしているのか直接見たり、聞いたりすることができ、町の動きを直接知ることができます。どうぞお気軽に議場を訪れ、議会を傍聴してみたいかでしょうか。

町政を問う >



平成24年12月議会では8名の議員が登壇しました。全質問項目は下記のとおりです。

① 水澤 努

1. 本年の議会で再三質問してきたが、歳出削減のために有効となるPPS（特定規模電気事業者）からの電気購入交渉の進捗状況はどうなっているのか。
2. 越生東、上野東、西和田・河原山地区の住宅建設状況について聞きたい。
3. 9月の定例会での私の財源対策に関する一般質問に対して町有財産の有効活用や売却可能資産の処分などに言及していたがそれに関して質問する。
4. 町長に対して自治基本条例の制定について質問する。



② 浅野 訓正

1. 運動施設の管理の徹底を
2. 観光施設の案内看板設置は



③ 宮崎 さよ子

1. 防災無線のサイレンについて
2. 水道事業について



④ 木村 正美

1. 道路行政の将来像はあるのか
2. 補助金利用で活性化をはかれ
3. 指定避難所の耐震性は大丈夫か
4. 小学校中学校の指導とケア態勢は



⑤ 木村 好美

1. 教育及び教育行政全般について
2. 行政全般について



⑥ 吉澤 哲夫

1. 町長として4年間を振り返ったとき。



⑦ 宮島 サイ子

1. 介護支援ボランティア制度について
2. ジェネリック医薬品について
3. 小型家電リサイクル法について



⑧ 神邊 光治

1. 予算編成について
2. 越生町のいじめ対策について
3. 梅園小学校の山村留学制度の検討について



記載した本文は質問した議員本人が執筆していますが、文字数が限られているため、要約して掲載していません。
全文は図書館等に置いてある会議録か、インターネット（町ホームページ内「会議録検索システム」）で閲覧することができます。



一般質問の人数制限はありません。一問一答方式で一人当たりの質問時間は60分以内です。質問を行う議員は、事前に議長あて「こんな質問をします」という通告を行います。質問の順番は通告書の受付順となっています。

越生駅東口の開設

太陽光発電の誘致を

水澤 努



問 この間再三質問してきたPPS（特定規模電気事業者）からの電気購入交渉の進捗状況は。

小学校、梅園小学校、越生中学校の5施設。この契約で電気料金は概ね10%の削減率で約190万円の削減額となる。

答 10月26日に最も低い金額を提示した「ミツウロコグリーン株式会社」と契約を締結した。契約した施設は役場庁舎、中央公民館、越生

問 越生東、上野東、西和田・河原山地区の住宅建設の現状と人口動向および越生駅東口開設の展望は。

答 民有地に住宅が建設されている割合は越生東が65%、上野東が約40%、西和田河原山地区が約70%。人口は越生東と西和田河原山は横ばいだが上野東は少しずつ増加している。駅東口の開設は駅利用者の利便性の向上をはかり、駅東側地域の発展に貢献するので今後も鉄道事業者に要望していきたい。

問 町有地や町有林で太陽光発電所の誘致が可能な場所はあるか。あるのならば早急に動き始めるべきではないか。

答 太陽光発電設備の誘致が可能と思われるような一定の面積を有する土地は5カ所ある。本年度、県環境部から大規模太陽光発電設備等設置可能性調査があり、候補地として回答した。条件が適合する場合には連絡が来る。
要望 今は地方分権の時代、県や国の動きを待っているような受身の姿勢ではだめだ。現在、太陽光発電の分野には多くの企業が参入している。自ら出向いて営業しても



和歌山県すさみ町山間部の小規模太陽光発電

らいたい。

運動施設の管理の徹底を

観光施設の案内看板の設置を

浅野 訓正



問 「さわやかな笑顔で学ぶ生涯学習」をスローガンに一芸、一スポーツ、一ボランティアが推進され、スポーツの面では、町内に数カ所町民が利用できる運動施設がある。どの施設もベンチが少なく、また老朽化している。(1)施設等の管理は、どこでし

ているのか。定期的にチェックをどのように行っているのか。(2)いこいの広場には、トイレがない。トイレの不足は問題だ。何とか早く対処すべき。不便と思うが、町はどう考えているのか。

答 (1)大満農村広場と上谷運動公園は、産業観光課

それ以外は、生涯学習課が担当している。不定期ではあるが、短い周期でグラウンドの整備状況を重点にチェックしている。ベンチの老朽化は出来るだけ早く対処、準備する。(2)いこいの広場は、河川敷を県の占有許可を受け活用している施設。河川法に基づき永久構造物は設置できないので、道路を挟んだ向かい側の稲荷児童公園のトイレを使用してほしい。



三浦町の公園ベンチ

「水道事業の概要報告」は

町民には理解できない

宮崎 さよ子



問

9月議会で質問したお昼のサイレンについて、①町に届いた町民の意見は。②再開はいつか。

答

①再開してほしい。サイレンよりチャイムが良い。②2月1日から3月31日まで正午にチャイムを試験的に鳴らす。問題がなければ4



問

月以降も引き続き実施する。火災発生時のサイレンは音が小さくて聞こえない。町民が火災や災害時に瞬時に分かるように、音を徹底して調整するべきではないか。

答

西入間広域消防組合に改善を要請した。1カ月後に音量を上げた。

問

「平成23年度越生町の水道事業の概要報告とお願ひ」のチラシは難しく、町民には理解できない。配布した目的は何か。老朽化が進む施設の更新とは。その資金

答

は。具体的な検討とは。近隣の水道事業を調べてみると、石綿管更新工事をすれば有収率は上がるのに、越生町の水道事業はここ4年間、石綿管更新工事をすればするほど有収率が下がっているのは。23年度決算は772万5千円の赤字で繰越欠損金が3432万3千円で水道事業を町全体で考えなければならぬ現状を伝えなかった。施設は耐用年数20〜25年なので順次更新している。資金は予算の範囲で行う。ほかの緊

急の修理は工事計画から代行する。今年度、水道施設の現状把握と課題の抽出をして来年度に水道事業の基本計画を策定したい。石綿管の漏水はない。有収率が減っている主な原因は平坦地に比べ山間部での漏水が多く、見つけづらく減っているのが現状だ。今年度は136カ所の漏水が見つかった。

道路計画はどうあるのか

補助金利用で活性化を

木村 正美



問

町の道路行政は計画性が見えず中途半端と思えてしまうのだがどうか。①上野地内の町道1-29号線が昨年完了した。従来の狭い町道に接続したが将来の延長計画は。完成見通しは。②ほかに中途半端なのが、山吹大橋から駅東口への直線

答

道路、立派な中央橋も先はクランクであり、主要道となったバイパスから越生駅や町役場へのアクセスする道路がないのは。③道路行政は担当者の交代等で状況や環境も変わる継続事業だが大丈夫か。平成18年に策定された越

問

財政的に事業展開が難しいが、補助金を利用して活性化はかれないか。①町の補助金の決定プロセスは。②民間にも有効な有益な補助金情報の提供は。③町の特性に合えば補助率は低くても取り組む姿勢はあるか。④補助金事業の選定、選択に民間も入れて活力のある協働の推進を図る考えはあるか。

答

①担当課で国や県のメニューを参照し情報の収集。②広報で周知、対象者宛てに通知連絡。③財源確保と

町債借入れの兼ね合いを考慮。④魅力あるまちづくりのために民間活力の利用も検討。



町道1-29号線

子どもは皆平等。障がい児

支援を拡大し温かい町政を

木村 好美



問

障がい児の中学校通学
困難者について、スクー
ルワゴン等で安全に通えるよ
う配慮すべきでは。自立する
努力を親子でしている。障が
い児支援を町長はどう思うか。
また、スクールバス・ワゴ
ンの無料化は、義務教育であ
るからこそ、当然ではないか。

答

スクールバス・ワゴン
の無料化は、保護者の負
担を軽減するため、財務当局
と協議していく。障がい児の
通学困難者の件は、今、伺っ
た。なるべく、良い方向にい
くようにしたい。どのような
形にできるかは、保護者、学
校、教委との話し合いの結果

で検討していく。
要望 是非、温かく対応する
ように。

問

3月議会会議録が間違
っている。耳が悪い：よ
うな発言が学務課長からあつ
た。議会軽視、議事録軽視は
絶対にあつてはならない。そ
こで聞く。教委の答弁は完
きであり、議事録が間違つて
いるのか。教委に非はないか。

答

記事事項の確認をした
ら、会議録が違っている。
ならば、教委の答弁は
完べきだったのか。

こちらの言うことに何
も間違いがないわけではな
いかという気持ちだった。

要望

まずは、言い方に問題
がなかったかを反省して
から対応しろ。非を認める。

問

47・8%の保護者から
3学期制がよいとの回答
があつたが今後の対応は。

答

学力結果が良好なので
2学期制の不安を払拭し
ている。

要望

だったら、どの程度払
拭したのかアンケートを

町長として4年間を

振り返ったとき

吉沢 哲夫



今日の町の問題を提起
すれば、どのようなこと
があるのか。

答

今まで取り組んできた
事業は福祉の充実、行財
政改革の推進、住民参加、お
ごせの良さの発掘、発信など
のほか、越生駅のバリアフリ
ー整備事業で鉄道事業者と協

定を結び、事業が動き始めた
ところだ。今後、景気の低迷
や地価の下落などに起因する
税の減収見込みに、財源をど
のように確保していくかが大
きな課題。また、少子化対策
や高齢化社会への対応と商店
街対策、公共施設の老朽化な
ど、多くの課題が山積してい

る

問

近隣市町との関係や、
町独自で取り組まなけれ
ばならないことは。

答

現在、近隣市町とは、
一部事務組合を設置し、
スクールメリットを生かした
まちづくりを行っている。今
後も、これら事務組合のほか、
川越都市圏まちづくり協議会
と共同による広域事業を推進
したい。また、坂戸スマート
インター開設にともなう成果
があるような事業を関係市町
と協議し進めたい。

問

これから行政や町民が
取り組まなければならな
いことは。

答

行政として、多様な住
民ニーズに対応したり、
大学と連携し、まちづくりと
まちおこしを進めたい。地域
力を高めるため、空き家バン
クや山村留学制度を生かし、
人口流入に努める。また、地
域の安全対策、災害時の支援
が迅速にできるように努める。
駅のバリアフリー化後、越生
駅東口の開設を目指したい。
町民の皆様には、町政に対す

る提言をいただきたいと考
えている。



越生駅東口ロータリー



とつて、再度保護者に聞け。
他、ゆうパークの今後等質問。

高齢者の生きがいづくりや

ボランティア活動の実情は

宮島 サイ子



問 (1)高齢者の生きがいづくりやボランティア活動の実情は。(2)要介護認定者の人数と重度化の防止策の取り組みは。(3)厚労省が高齢者の介護予防の取り組みとして介護支援ボランティアの活動を市町村が実施することを認めている。同事業の導入は。

答 社協のボランティアセンターの登録会員数は180名、地域や町の事業等、様々な機会を通じて活動している。要介護認定者は、高齢化に伴い年々増加しており、現在470名が認定を受けている。高齢者の身体状況に合わせ、二次予防事業、一次

平成25年度予算編成方針は

ただちに公表する

神辺 光治



問 予算編成について、鳩山町は平成25年度予算編成について(通知)を10月1日に教育長、各課(局・室)長宛に発し、議員にも配布しています。議会事務局はこれに基づき平成25年度予算編成に対する議員要望書を取りまとめ町長に提出しています。この

答 ように予算編成の基本を公表し、町民参加で予算編成をするシステムが鳩山町ではできています。越生町も計画の段階から住民参加・協働をめざすなら平成25年度予算編成方針は公表すべきです。町は平成25年度予算編成方針を10月19日付で各

予防事業を実施している。平成23年1月から「越生町地域支え合いサービス事業」を社協が実施しており、元気な高齢者が、援助の必要な高齢者の生活支援を行う地域支え合いの仕組みが広がればと考えている。

問 (1)ジェネリック医薬品の利用促進の啓発活動に積極的に取り組むべきと思うが。(2)レセプト情報をもとに「差額通知」事業を行っている自治体も多い。当町でも「差額通知」は行うべきでは。

答 利用促進の啓発活動を行って参りたい。「差額通知」は、平成25年度実施に向けて検討している。

問 今年8月小型家電リサイクル法が成立し、来年4月から実施される。小型家電のレアメタル(希少金属)を再資源化促進するために、越生町でも回収をしていたいただきたいが保全組合の関連も含めて見解は。

答 埼玉県西部環境保全組合では、小型家電のリサイクルは、平成23年7月より実

証試験というかたちで既に開始している。



課に通知した。これまで公表や議会への報告等は行っていないが今後は公表します。

問 ①県・教育局・県警が

たが(朝日新聞は「少年補導の経験が豊富な退職警察官が多数」(筆者挿入)教育現場に警官が入ってきてきて威圧でいじめを撲滅しようとするものです。本来、子ども達の自治意識を育て、子ども自らの力でいじめを止める教育こそ重要で、県の撲滅宣言は不要です。②町の宣言の必要性。③地域

・親に何ができるかを明確にする必要があります。④梅園小学校の存続と同地域の人口減対策で山村留学制度の確立を。

答 ①県教委のリーフレットは直ちに配布した。学校警察連絡協議会と連携し犯罪につながるいじめ等の早期発見を。②学校・関係各課との調整を図る。③家庭・地域の見守り活動・家庭教育学級の充実等いじめ問題の取り組み推進。④山村留学の現在研究協議は行っていないが、梅

園小学校の児童数減少の歯止めとして有効な手段なので研究課題として取り組みます。



「顔の見えるまちおごせ」①

龍穩寺住職 芹沢聡海氏



今号から「顔の見えるまちおごせ」シリーズを開始します。第1回目は曹洞宗関東三大寺の筆頭、龍ヶ谷の龍穩寺のご住職、芹沢聡海さんに聞きました。

幻魚カンナギに 導かれた仏への道

・どんないきさつで住職に

最初は外資系IT企業で毎日午前様。残業は1カ月で100時間オーバー。その後も日本ビクター、エプソンでバリの企業人間でした。

でも実は物心ついた頃から魚釣りが大好きで、漁師顔負けの釣り少年だったんです。仕事に行き詰まってからは趣味が高じ、本職の裏でプロシヨップに所属するインストラクターまでやりました。スキューバダイビングもしたのですが、そこで龍穩寺の娘さん、つまり今の妻と出会いました。すぐに仏門に入る決意を

いや、ものすごく悩みま

した。そんな時に妻と一緒に高知へ釣りに。そしたら釣りの人の憧れの幻魚カンナギ（マハタの老成魚）、それも百キロ近いのが釣れてしまった。高知でそんな釣れた記録なんてないんですよ。私の釣りの人生の目標はそれで達成。仕事でもやりがいを感じ、常に今の社会に疑問を抱いていた私は、未練もなく導かれるように出家しました。

・越生に来ていかがですか

IT業界にずっといてその裏を知り、都会の虚しさを感じました。もう都会には全く執着ないですね。むしろ空気がきれいで、静かで、鳥のさえずりが聞こえることの方がよっぽど豊かな生活。それはいくらお金があっても都会では手に入らない、越生町の宝ですよ。



議会広報研修に参加して

伝える広報から伝わる広報へ
議会広報研修会が11月22日に、埼玉県県民健康センターで行われました。

広報編集委員全員出席し、

「伝える広報」から「伝わる広報」にするためには何が必要かを学ぶ一日となりました。



編集後記

本文で記載しましたが、地方自治法の改正に伴い、議員発議により越生町委員会条例及び会議規則を改正しました。地方分権は一層進み、地方自治体とともに地方議会の役割もますます重要なものとなってまいりました。

国の借金が1000兆円に迫る中で、今や地方は国に頼らずに自力で生きるすべを身につけなくてはなりません。越生町も人口減少や団塊世代の大量リタイアに伴い、税収減の時代に入りました。このような困難な情勢下で行われる町長選挙。町民の皆さまは

【おぼろぎ】

議会だより第143号
(平成24年12月1日発行)の中で、誤りがありました。次のおり訂正しお詫びいたします。

2ページの記事中、新議長顔写真下に「副議長新井康之」とありますが「新井康之」に訂正いたします。



いかなる審判を下されるのでしょうか。

議員一同こうした厳しい時代にあつて、さらに町民の皆さまとの連携を密にし、町の活性化の重要な一翼を担うべく奮闘する決意であります。

- 委員長 吉澤 哲夫
- 委員 新井 康之
- 浅野 訓正
- 宮崎 さよ子
- 宮島サイ子
- 木村 正美
- 水澤 努

